

令和2年8月19日

発 言 者	発 言 要 旨
<p>【請願14号の審査】 梶原副委員長</p>	<p>地方交付税への影響もあることから慎重に審議するべきであり、継続して審議すべきである。</p>
<p>菊池（大）委員</p>	<p>令和2年7月豪雨の際の警察の対応状況はどうか。</p>
<p>警備第二課長</p>	<p>今回の災害では、道路冠水や土砂流出により通行ができない場合は交通規制や交通誘導を行い、土砂災害の恐れがある地域においては家々を一軒ずつ回っての確認や避難の呼び掛けなどを実施した。</p>
<p>菊池（大）委員 組織犯罪対策課長</p>	<p>「お祭り商業協議会」の組織概要はどうか。 「お祭り商業協議会」とは、お祭りから暴力団を排除して、明るく健全なお祭りを実現するために設立された団体であり、「露店営業活動の場の確保」や「暴力団の排除活動」などの事業を行っていることと承知している。各協議会の構成については露店の業者、神社関係者などに加え、各署長などが顧問や参与という立場で参加している。</p>
<p>菊池（大）委員</p>	<p>令和2年7月豪雨の学校関係施設の被害状況はどうか。また、防災教育の取組状況はどうか。</p>
<p>施設整備主幹</p>	<p>小学校が6件、高等学校が15件、特別支援学校が4件、計25件の被害があった。内容については一時的な浸水や雨漏りが多く、敷地内の一部崩落もあったと承知している。</p>
<p>保健・食育主幹</p>	<p>防災教育は、災害の未然防止や垂直避難などの避難行動について子どもたち自身が体験し、考えながら、防災対応力を高める取組みなどが行われている。</p>
<p>矢吹委員</p>	<p>本県の電子黒板の導入状況はどうか。</p>
<p>義務教育課長</p>	<p>平成30年度末時点での調査において、小中学校及び県立高校の普通教室の電子黒板の整備率は42.9%である。全国平均が52.2%であり、市町村によっても整備状況に差がある。</p>
<p>矢吹委員</p>	<p>ICT機器の使用に慣れていない生徒に対するサポート体制やICT機器が故障した場合の対応はどうなっているのか。また、GIGAスクールサポーターの採用状況はどうか。</p>
<p>義務教育課長</p>	<p>ICT教育拠点校の取組みをリーフレットにまとめ、今月から各市町村教育委員会を訪問して事例紹介をしているところである。 また、GIGAスクールサポーターの配置については7月30日現在で県内では現在5市町村から59校11名分の申請があり、すでに国から内定</p>

発 言 者	発 言 要 旨
菊池（文）委員	を受けている状況である。
保健・食育主幹	今年の夏は全国的に猛暑であり、学校における熱中症対策はどうか。
菊池（文）委員	学校における危機管理の手引きを作成しており、手引きに基づき対策を行うよう指導している。また、熱中症により医療機関を受診した件数は小、中、高等学校及び特別支援学校で合計 30 件となっている。
菊池（文）委員	子ども 110 番連絡所の設置状況及び青色防犯パトロールを実施している団体数はどうか。
参事官（兼） 生活安全企画課長	子ども 110 番連絡所は、今年の 3 月末現在、12,241 か所となっている。また、青色防犯パトロールは今年 7 月末現在の団体数、実施台数、実施者数は 170 団体、2,257 台、6,070 人となっている。
菊池（文）委員	警察職員が大麻取締法違反の疑いで逮捕されるという事案が生じた。薬物を防ぐには薬物乱用防止の教育が重要であるが、薬物乱用防止教室の開催状況はどうか。
人身安全少年課長	警察職員が大麻取締法違反の疑いで逮捕されるという事案が生じた。薬物を防ぐには薬物乱用防止の教育が重要であるが、薬物乱用防止教室の開催状況はどうか。
石黒委員	本年 7 月末現在で 77 校延べ 81 回であり、コロナの影響もあるが前年同期比で 9 校、31 回少なくなっている。今後とも学校関係者と連携を図り、薬物乱用防止に向けた教育を進めたい。
人身安全少年課長	薬物乱用防止教室の小中高校別の詳細実施回数かどうか。
石黒委員	学校別では小学校 40 校延べ 42 回、中学校 20 校 21 回、高校 14 校 15 回、その他、専修学校 3 校で 3 回行っている。
組織犯罪対策課長	薬物事案の状況及び少年が関わった薬物事案の状況はどうか。
菊池（文）委員	過去 3 年間及び今年 7 月末までの薬物事犯の検挙人員の総数は 101 人であり、種別では覚せい剤取締法違反が 54 人、大麻取締法違反が 36 人。その他あへん等が 11 人である。また、101 人中、少年被疑者は 4 人（4%）である。
参事官（兼） 交通企画課長	可搬式オービスの調達状況はどうか。
田澤委員	7 月 21 日に納入業者が決定し、令和 3 年 1 月頃に納入予定である。
理事官（兼） 警務課長	警察官 3 人が後輩の警察官に暴行を加えた事案が発生したが、再発防止策についてどう考えているのか。
理事官（兼） 警務課長	まず、全職員から聞き取りをし、当該事案と同様の事実はないことを確認した。 また、この度の大麻取締法違反事件では職員の倫理の欠如ということが第一に挙げられる。そこで、職務倫理教養の徹底を重点に、再発防止策を挙げている。この再発防止対策については、職務倫理教養のほか、組織と

発 言 者	発 言 要 旨
田澤委員	<p>して危機感を共有することなど等を重点に取り組んでいく。</p> <p>「やまがた創生総合戦略」の取組状況において「総合型スポーツクラブの会員数」が策定時の数値を下回ったとのことだが、総合型スポーツクラブの将来のあり方についてどう考えるのか。</p>
スポーツ保健課長	<p>現在の総合型スポーツクラブは年々会員数が減っており、高齢者対象プログラムが多く、若年層の会員が少ない。今後は、教員の働き方改革の視点も踏まえ、関係スポーツ団体と連携を図りながら検討していく。</p>
田澤委員	<p>コロナ禍における電車による通学の状況はどうか。</p>
高校教育課長	<p>分散登校については学校単位で時差通学を推奨している。学年ごとに、少し早めの時間の列車を使うよう調整しているところもある。</p>
梶原副委員長	<p>「ながら運転」の発生状況及び検挙の状況はどうか。また、自動車の「ながら運転」対策をどう考えるのか。</p>
参事官（兼） 交通企画課長	<p>令和元年12月1日に改正道路交通法等が施行され、「ながら運転」の違反点数が厳しくなった。違反については、前年比で946件減の2,001件の検挙となっている。引き続き取締りの強化を図り、やまがた110ネットワーク等を通じた情報発信、運転免許更新時の講習、企業等での交通講話を通じて周知したいと考えている。</p>
梶原副委員長	<p>自転車の「ながら運転」の発生状況はどうか。</p>
参事官（兼） 交通企画課長	<p>自転車の「ながら運転」に対するイエローカード指導警告件数は令和2年7月末現在、昨年比で6件減少の187件であり、車の運転に比べれば、自転車の方の減少率が低い現状である。</p>
梶原副委員長	<p>LED式信号機の設置状況はどうか。</p>
参事官（兼） 交通企画課長	<p>LED式の信号機について、平成18年からは新規及び更新の信号機を設置する際、全てLED式の信号機としている。その結果、令和2年の6月末現在で1,822か所（全体の約6割）の交差点についてLED式の信号機となっている。</p>
梶原副委員長	<p>LED式信号機の積雪対策はどう考えているのか。</p>
参事官（兼） 交通企画課長	<p>LED式信号機については、電球式と比べて、見やすく消費電力が少なく長寿命というメリットがある。一方、発熱しないため、雪が付きやすいことが考えられる。そのため、平成23年度からLED式信号機については、冬期間赤色の部分に熱線を入れ、ひさしを外し、縦型やフラット型とするなど雪がつかないように対策をしている。雪がついた場合は、警察官や委託業者が除雪している。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
梶原副委員長	<p>「やまがた創生総合戦略」の取組状況において「医学部医学科、難関大学の合格者数」が策定時の値を下回ったとのことだが、今後の対策はどうか。</p>
高校教育課長	<p>昨年度は入試傾向として、大学入試センター試験の最終年度ということもあり、点数の高い受験者が目標を少し下げて受験する傾向があったと分析している。</p>
梶原副委員長	<p>難関大学に合格することが必ずしも良いことだとは思わないが、学力全体の底上げとなり、進路についての選択肢が広がるため、全体の底上げを図れるような政策を進めるべきと考える。</p>